

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
いちごROOM MOE		令和 7年 3月 30日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		部屋の配置を工夫しています。	活動内容によって空間の確保をしています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		利用定員や子どもの状況に応じた職員配置をしています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		マットを敷くなどをして工夫しています。 整理整頓	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日の掃除 換気・加湿器・消毒など実施しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		5		今後、必要に応じて環境を整備していきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		皆で話し合っています。	定期的に実施しています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者の要望によりマットを敷くなど、改善しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		ミーティングで話し合っています。	今後も引きつづき実施していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		今後、検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		月一の勉強会や個々の研修を行っています。	日々の困りごと等、検討し継続して実施していきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		話し合いを実施し、ホームページにて公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		アセスメントを実施し、個々に合わせた支援内容をしています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		話し合いをしている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		ミーティングで話し合い、検討している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		皆で話し合い、対応しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		ガイドラインの勉強を実施しています。 ミーティング等で検討しています。	ガイドラインに従い、支援に必要な項目を選択し、具体的な支援内容を設定している。改善点も実施しています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		事前に準備をし、話し合い、決定しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		季節によって制作を月1で行っています。 月ごと玩具の入れ替え、遊びの提供をしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		・こどもの状況をHUGに打ち込んで職員間で共有しています。 ・書道、お抹茶等実施しています。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		当日の午後に職員全員で確認をしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		送迎が終わり次第行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		些細なことでも、HUGに記録をしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		職員間で話し合い、見直しを実施しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5		意識して支援に取り組んでいます。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		おやつや制作等の際に自分でどうするか決められるようにしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		職員から、日々の子どもの状況を聞きながら会議に参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		情報共有を実施しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		日頃から、情報共有を実施しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		5	保護者から聞き取りをしています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		5		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		5		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5		今後、検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5		参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。		5	送迎時に情報共有をしています。	
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		5	悩みや相談については、適切に助言等を行っています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		面談の際に行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		送迎時や面談時に伝えています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		内容の説明をし、同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		必要と判断した際は、実施しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	5		年1回のいちごまつりで交流の機会を設けています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		何かあればすぐに苦情対応をしています。	

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		ホームページやブログ、MOEだよりで伝えて います。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		書面での確認や口頭でも伝えて います。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮を しているか。	5		メールや書面等で工夫をしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を 図っているか。	5		いちごまつりで近所の方々を招待 しています。	
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染 症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発 生を想定した訓練を実施しているか。	5		非常食や水を備えています。 月1回の訓練を実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、 定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		定期的に、避難訓練を行っています。	実施しているが、課題も多いため、見直しが必要
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認して いるか。	5		保護者と情報共有をしています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応が されているか。	5		保護者と情報共有をしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置 を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・車内に置き去り防止装置を付けています。 ・研修を定期的に行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計 画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		面談等で話をしています。	緊急時のために、保護者の職場などの連絡先 を聞いていく予定です。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検 討をしているか。	5		何かあれば次の日のミーティングで報告して います。 統計を取り、対策を実施しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をし ているか。	5		年1回以上の勉強会を行っています。 委員会の開催も実施しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決 定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後 等デイサービス計画に記載しているか。	5		年1回以上の勉強会を実施し、必要に応じて必 ず記載しています。 委員会の開催も実施しています。	

○事業所名	いちごROOM MOE		
○保護者評価実施期間	令和 7年 2月 14日 ~ 令和 7年 2月 28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21 (回答者数)	17
○従業者評価実施期間	令和 7年 2月 10日 ~ 令和 7年 2月 18日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 3月 7日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもが安心して楽しく通所している。	安全に配慮した環境づくりを行っている。 一人ひとりの発達に応じて、楽しめるのを準備している。	・今度も、子どものニーズや親の要望に応じられるようにしていきます。
2	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、共通理解が出来ている。	連絡帳やお便り、ホームページなどで情報の交換・発信を行っている。	SNSなどの発信できるツールを検討しています。
3	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題に合わせて療育を行っている。	こどもの発達レベルに合わせた、関わり方を行っている。	スタッフの研修を増やし、こどもたちにとって良い療育になるように努力していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や地域のこどもと活動する機会が少ない。	平日は、近くに交流する場所がないことや、こどもたちの学年も上がり、学校から事業所に来る時間が遅くなっているため交流の場がもてなくなっている。	長期休暇の際に、交流の場を1日でも多く持てるように計画を立て、努力していきます。
2	家族に対して家族支援プログラムや家族等も参加できる研修会や情報提供の機会が少ない。	情報提供を発信する力・機会を設けることが意識的にできていない	研修など、立案し、意識的に取り組めるように努力しています。
3	保護者同士の交流の機会が少ない。	1年に1度のお祭り以外は交流の場が持てていない。	保護者同士が交流できる場を新たに設けていきます。